



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月14日

東

上場会社名 株式会社フレアス 上場取引所
 コード番号 7062 URL http://fureasu.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)関根 竜哉
 問合せ先責任者 (役職名)財務経理部長 (氏名)関根 真一郎 (TEL)03(6632)9210
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,206	6.6	△18	—	△15	—	△24	—
2022年3月期第2四半期	2,070	22.8	119	—	119	—	91	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △24百万円(—%) 2022年3月期第2四半期 91百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△10.50	—
2022年3月期第2四半期	39.40	38.77

(注) 2022年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,740	1,682	44.6
2022年3月期	3,390	1,718	50.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 1,667百万円 2022年3月期 1,709百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	10.57	10.57
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	10.57	10.57

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,684	12.2	52	△71.6	86	△61.1	29	△80.0	12.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	2,352,600株	2022年3月期	2,336,600株
2023年3月期2Q	65株	2022年3月期	65株
2023年3月期2Q	2,345,496株	2022年3月期2Q	2,334,896株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の第7波の影響により経済活動への影響が見られたものの、各種政策の効果もあり、景気は緩やかに持ち直しております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響、為替相場における円安の進行、ウクライナ情勢、資源価格の高騰など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する在宅マッサージ業界及び訪問看護業界におきましては、少子高齢化が加速する一方で、医療機関における病床数の減少が見込まれるとともに、特別養護老人ホーム等の介護施設の待機者数は、年々増加傾向にあり、政府による地域包括ケアシステムの構築の推進活動と相俟って、在宅療養の重要性がますます高まってきております。

このような状況のもと、当社グループが訪問してサービス提供する対象の一部には介護施設が含まれておりますが、多くの介護施設では新型コロナウイルス感染拡大防止を目的として、外部者の施設への立ち入りを一時的に禁止するなどといった措置がとられております。また、新型コロナウイルス感染症の第7波では、当社グループの施術師の感染による訪問サービスの中止も発生いたしました。

一方で、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者に達する2025年頃には、国民の3人に1人が65歳以上の高齢者、5人に1人が75歳以上の後期高齢者になるといういわゆる「2025年問題」の到来が見込まれる環境下において、介護施設等の法人営業を強化することによるサービス利用者のさらなる増大を通じて、「2025年問題」の解決企業として当社グループが事業を遂行していくことを実現すべく、フランチャイズ事業及び施設系介護サービス事業である看護小規模多機能型居宅介護事業の推進を加速したことで、マーケットシェア及びサービス提供エリアがより一層拡充いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,206,363千円（前年同四半期比6.6%増）、営業損失は18,272千円（前年同四半期は営業利益119,929千円）、経常損失は15,559千円（前年同四半期は経常利益119,426千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は24,639千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益91,994千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、当第2四半期連結累計期間より、「その他の事業」に含めていた看護小規模多機能型居宅介護事業を「施設系介護サービス事業」として独立のセグメントに変更いたしました。

① マッサージ直営事業

マッサージ直営事業では、新型コロナウイルス感染の第7波の影響に伴い、一部の介護施設において外部者の施設への立ち入りが制限され、また、当社グループの施術師の感染によるサービス提供中止が発生しましたが、従前よりも高頻度なサービス提供を提案することで、サービス提供回数の増加に取り組んでまいりました。また、介護施設を運営する法人への営業を強化するなど、引き続き当社グループのサービスの認知度向上を図ってまいりました。当第2四半期連結累計期間においては、売上高は引き続き新型コロナウイルス感染症の影響もある中、微増となりましたが、一方で今後の成長に向けた新卒社員の入社に伴う人件費及び研修費用が発生するなどした結果、増収減益となりました。

以上の結果、売上高は1,620,077千円（前年同四半期比0.3%増）、セグメント利益は364,776千円（前年同四半期比13.9%減）となりました。

② マッサージフランチャイズ事業

マッサージフランチャイズ事業は、「フレアス在宅マッサージ」フランチャイズの新規加盟数が19件あり、当第2四半期連結累計期間末における加盟店数は281拠点（前年同四半期末比13.8%増）となりました。当第2四半期連結累計期間においては、売上高は介護施設を運営する法人との取引件数増加等により増加となりましたが、一方でフランチャイズ開発に係る営業人員の増強により人件費が増加した結果、増収減益となりました。

以上の結果、売上高は310,663千円（前年同四半期比10.1%増）、セグメント利益は74,616千円（前年同四半期比2.8%減）となりました。

③ 施設系介護サービス事業

施設系介護サービス事業は、新規事業である看護小規模多機能型居宅介護事業のための体制整備などに注力し、費用

が先行して発生いたしました。当第2四半期連結累計期間において、フレアス看護小規模多機能水戸の開設により、2拠点となりました。

以上の結果、売上高は49,239千円（前年同四半期は一千円）、セグメント損失は53,389千円（前年同四半期比407.4%増）となりました。

④その他の事業

その他の事業セグメントに含まれる主な事業である訪問看護事業は、新型コロナウイルス感染拡大による大きな影響はなく、地域のケアマネジャーに対する営業の強化及びマッサージ直営事業拠点との共同営業を推進することで、当社グループのサービスの認知活動を推進してまいりました。当第2四半期連結累計期間において、前年同四半期と比較し、拠点数の増加により売上高が増加したことにより、増収増益となりました。

以上の結果、売上高は226,383千円（前年同四半期比31.4%増）、セグメント損失は7,992千円（前年同四半期比34.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、2,793,841千円（前連結会計年度末比7.4%増）となりました。主な内訳は、現金及び預金が1,186,189千円（前連結会計年度末比2.3%減）、売掛金が1,077,104千円（前連結会計年度末比12.9%増）及び立替金が468,476千円（前連結会計年度末比23.6%増）であります。

また、固定資産は、946,673千円（前連結会計年度末比19.9%増）となりました。主な内訳は、有形固定資産が285,607千円（前連結会計年度末比106.0%増）、のれんが223,185千円（前連結会計年度末比5.0%減）、契約関連無形資産が246,153千円（前連結会計年度末比4.5%減）及び投資その他の資産が115,860千円（前連結会計年度末比6.2%増）であります。

この結果、総資産は3,740,514千円（前連結会計年度末比10.3%増）となりました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は801,203千円（前連結会計年度末比3.6%減）となりました。主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金が344,716千円（前連結会計年度末比17.7%増）、未払金が143,862千円（前連結会計年度末比14.5%増）及び流動負債のその他が135,738千円（前連結会計年度末比5.1%減）であります。

また、固定負債は1,256,499千円（前連結会計年度末比49.5%増）となりました。主な内訳は、長期借入金881,767千円（前連結会計年度末比46.4%増）であります。

この結果、負債合計は2,057,703千円（前連結会計年度末比23.1%増）となりました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,682,811千円（前連結会計年度末比2.1%減）となりました。主な内訳は、資本金が295,722千円（前連結会計年度末比1.3%増）、資本剰余金が285,722千円（前連結会計年度末比1.3%増）及び利益剰余金が1,086,375千円（前連結会計年度末比4.3%減）であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日付「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で発表した、2023年3月期の通期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、2022年11月8日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,214,521	1,186,189
売掛金	953,786	1,077,104
貯蔵品	8,477	10,605
立替金	379,053	468,476
その他	46,367	53,462
貸倒引当金	△1,568	△1,996
流動資産合計	2,600,637	2,793,841
固定資産		
有形固定資産	138,612	285,607
無形固定資産		
のれん	234,820	223,185
契約関連無形資産	257,692	246,153
その他	49,544	75,866
無形固定資産合計	542,056	545,205
投資その他の資産	109,053	115,860
固定資産合計	789,722	946,673
資産合計	3,390,360	3,740,514
負債の部		
流動負債		
1年内償還予定の社債	100,000	90,000
1年内返済予定の長期借入金	292,854	344,716
未払金	125,598	143,862
未払法人税等	111,509	24,043
賞与引当金	57,943	62,842
その他	142,997	135,738
流動負債合計	830,902	801,203
固定負債		
長期借入金	602,497	881,767
退職給付に係る負債	26,425	28,613
繰延税金負債	89,393	85,390
その他	122,206	260,728
固定負債合計	840,522	1,256,499
負債合計	1,671,424	2,057,703

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	291,924	295,722
資本剰余金	281,924	285,722
利益剰余金	1,135,711	1,086,375
自己株式	△70	△70
株主資本合計	1,709,490	1,667,750
新株予約権	9,444	15,061
純資産合計	1,718,935	1,682,811
負債純資産合計	3,390,360	3,740,514

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	2,070,159	2,206,363
売上原価	1,024,855	1,135,237
売上総利益	1,045,304	1,071,126
販売費及び一般管理費	925,374	1,089,398
営業利益又は営業損失(△)	119,929	△18,272
営業外収益		
助成金収入	1,401	369
違約金収入	1,266	5,523
その他	1,687	1,647
営業外収益合計	4,355	7,540
営業外費用		
支払利息	3,288	3,812
支払補償費	1,145	673
その他	424	342
営業外費用合計	4,858	4,827
経常利益又は経常損失(△)	119,426	△15,559
特別利益		
事業譲渡益	35,241	—
特別利益合計	35,241	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	154,667	△15,559
法人税、住民税及び事業税	67,552	11,484
法人税等調整額	△4,879	△2,404
法人税等合計	62,672	9,079
四半期純利益又は四半期純損失(△)	91,994	△24,639
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	91,994	△24,639

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	91,994	△24,639
四半期包括利益	91,994	△24,639
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,994	△24,639

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	154,667	△15,559
減価償却費	21,512	30,475
のれん償却額	12,928	11,635
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△63	428
受取利息	△6	△5
支払利息	3,288	3,812
事業譲渡損益(△は益)	△35,241	—
助成金収入	△1,401	△369
売上債権の増減額(△は増加)	△64,229	△123,318
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,211	△2,128
立替金の増減額(△は増加)	17,844	△89,422
未払金の増減額(△は減少)	41,582	18,264
預り保証金の増減額(△は減少)	24,623	11,500
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,574	4,899
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,232	2,187
その他	22,168	△5,798
小計	196,543	△153,399
助成金の受取額	1,401	369
利息の受取額	6	5
利息の支払額	△3,836	△3,812
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△16,210	△99,653
その他	—	4,850
営業活動によるキャッシュ・フロー	177,905	△251,640
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,858	△27,697
無形固定資産の取得による支出	△6,424	△36,821
事業譲受による支出	△12,971	—
事業譲渡による収入	35,241	—
敷金及び保証金の差入による支出	△474	△13,462
敷金及び保証金の回収による収入	1,569	421
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	2,264	—
その他	7,140	443
投資活動によるキャッシュ・フロー	23,486	△77,116

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△174,934	△168,868
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
リース債務の返済による支出	—	△6,260
自己株式の取得による支出	△70	—
ストックオプションの行使による収入	3,060	7,596
配当金の支払額	—	△21,733
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,055	300,734
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	219,447	△28,022
現金及び現金同等物の期首残高	1,215,381	1,214,211
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,434,828	1,186,189

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年6月28日 定時株主総会	普通株式	24,697	10.57	2022年3月31日	2022年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響については、今後の収束時期等を正確に予測することは困難な状況にあります。当社グループでは、同感染症については、2023年3月期の下期以降は収束に向かい、社会活動や経済活動への影響も緩やかに回復していくものと仮定し、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積り及び判定を行っております。

なお、同感染症の収束時期やその経済環境への影響等が上記仮定と乖離する場合には、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)3
	マッサージ 直営	マッサージ フランチャ イズ	施設系介護 サービス	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,615,599	282,229	—	1,897,829	172,330	—	2,070,159
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,615,599	282,229	—	1,897,829	172,330	—	2,070,159
セグメント利益又は損失 (△)	423,700	76,756	△10,523	489,933	△12,244	△357,758	119,929

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、訪問看護事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)3
	マッサージ 直営	マッサージ フランチャ イズ	施設系介護 サービス	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,620,077	310,663	49,239	1,979,980	226,383	—	2,206,363
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,620,077	310,663	49,239	1,979,980	226,383	—	2,206,363
セグメント利益又は損失 (△)	364,776	74,616	△53,389	386,002	△7,992	△396,281	△18,272

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、訪問看護事業等を含んでおりま
す。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメン
トに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

当第2四半期連結会計期間より、従来「その他」に含めていた「施設系介護サービス事業」について量的
な重要性が増したため、新たに報告セグメントとして記載する方法へ変更をしております。

なお、これらのセグメント変更に伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連
結累計期間における報告セグメントの区分により、組み替えて表示しております。